

【昭和 53 年開館から 41 年】

おかげさまで 入館者 25 万人

6月3日の岩谷堂小学校を皮切りに、市内小学校が続々と押し寄せました。新型コロナの影響で澁んでいた館内の空気が、羽田小・常盤小・水沢小、胆沢愛宕小6年生のエネルギーで再び新鮮さを取り戻しました。



6月17日終了の段階で、入館者 25 万人まで残り10人。翌朝の羽田小18名の来館で大台確定のため、マスコミに情報を流しました。18日朝、多くの報道機関が見守る中、自治三訣の色紙やノート等の文房具等を記念品とし、セレモニーを実施しました。



開館年こそ1万人の入館者を記録しましたが、後は、こうした記念館の宿命ともいえるべき、右肩下がり傾向を示し、8千人、7千人・・・と減少し、近年は年間4千人程度の入館者数で推移し

ています。「後藤新平」と言うと、「東京」「関東大震災」「ボーイスカウト」「台湾」「満鉄」「NHK」「ラジオ」「読売」「拓殖大学」「シチズン」等々、数々のキーワードが存在し、それらに関わる方々の様々な形での応援もあるため、一定の入館者数を確保させていただいています。

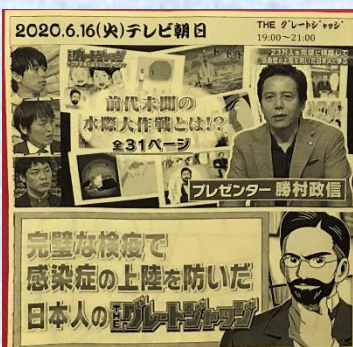
子ども達を愛し、子ども達に愛された新平さん。日本ボーイスカウト岩手連盟水沢第3団に所属する児童を含んだ羽田小学校が節目であったことに縁を感じました。6月は、羽田小以外にも、上記小学校が入館調整が必要なほど、次々と来館学習してくれました。ほとんどの小学校が、新型コロナ関連で、我慢に我慢を重ね、初の校外学習とのこと。胆沢愛宕小の皆さんは、カメラ撮影の瞬間だけマスクを外してパチリ。



【新型コロナ:越県自粛全面解除はしたけれど・・・拡大続く感染者(未だ新平さんへの注目止まず)】

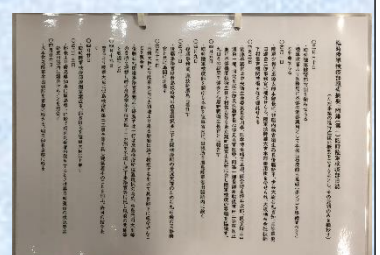
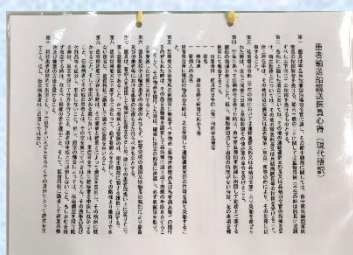
6 月

- 6/19(金) 越県自粛全面解除
プロ野球開幕(無観客試合)
- 6/20(土) 厚生労働省発表資料
【国内】感染者 17,799 名: 死者 952 名
【世界】感染者 8,428,643 名: 死者 452,297 名
感染者内: 米 2,189,128、英 300,469、伊 238,159、仏 158,641、米 124,245、288,779、日 978,142
死者内: 米 118,421、英 42,288、伊 34,514、仏 29,603、米 27,136、ブラ 147,748
- 6/16(火) テレビ朝日 (THE グレートジャッジ 放映)
- 6/18(木) 来館者 25 万人祝典(報道機関多数)
- 6/19(金) 河北新報取材(検疫関連)
- 6/22(月) 歴博オンラインシンポジウム撮影



新平さん、今度は、テレビ朝日の「The グレートジャッジ」に登場。勝村さんをプレゼンターにして、31ページにわたる漫画で「前代未聞の水際大作戦」を紹介しました。井ノ原さんや千原ジュニアさん、麒麟の川島さん等、お馴染みの芸能人が、新平さんの仕事ぶりに感嘆しきり。5月22日以来、何度となく取材を受けていた内容が、この日の放送につながりました。

【緊急特別企画展から】 関心の高い資料のうち2点、手に取り、めくって読めるものを作りました。



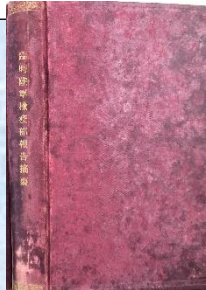
【患者輸送船護送医員心得】

【臨時陸軍検疫部報告摘要】

「附録(第一)臨時陸軍検疫部日誌」

臨時陸軍検疫部日誌(5月号の続き)

5月号では、驚異の2か月間の突貫工事が読みとれる4月～5月までの日誌を紹介しました。今回は、開所の6月1日から10月31日の検疫部廃止まで紹介します。
開所前日事故を起こした櫻島の検疫所。1週間後、所長に1枚の辞令が届きました。
一方、新平には、内務省衛生局長の辞令が再び下ります。



6月1日: 似島櫻島両検疫所を開く

6月5日: 彦島検疫所を開始す 似島廣島間電信開通す

6月7日: 北里博士今朝廣島に到着す直ちに似島検疫所に至り消毒罐の効力試験を行ふ、事務官長は本日着任せる酒井事務官等と同行せり、而して高田衛生局長も亦事務官長と同行所内を視る。北里博士は8日彦島に於て、12日櫻島に於て順次該試験を了せり

黒川事務官の櫻島検疫所長を免し本部付とし酒井事務官に櫻島検疫所長を命す

6月22日: 似島検疫所避病院長より事務官長に看護長雇員以下慰労として一週一回廣島市内に限り散歩を許可せる旨報告す。24日事務官長は外出厳禁の旨を命す

6月24日: 似島検疫所三浦事務官より鹿児島丸消毒に際し左の意見を事務官長に報告せり「鹿児島丸入港の時虎列刺8人死体1あり停留中13人発病せり該船は人馬の搭載多数にして患者の隔離頗る乱雑為めに全部消毒を施行するに至る今後は搭載人員の多少に依って隔離室の大小を定め尚室内の人員手荷物等を混雑せしめざる様致したし然らざれば一部に止る消毒を全部に及ぼすの止を得ざるに至る又之が為め碇泊の日数を無益に費すことあり

6月27日: 大本営石黒野戦衛生長官より事務官長に検疫所に虎列刺病者の来るは案外に少なきが故に避病院附の看病人50人を台湾へ遣らんことを照会す。28日事務官長は看病人の不足を感じ却って100人の増員を請求せんと欲する場合なり若し病院船内虎列刺患者を5日間各患者集合所に停留するを得ば増員は要せざるも減員のことは目下の所貴需に応じ難しと答ふ

6月29日: 最も多数の患者を出したる白山丸及新潟丸共に乗員定員より200人超過したり依って事務官長は石黒野戦衛生長官に乗員の制限予防上最も必要なる旨を通す

7月2日: 在大坂事務官長より賀古武谷事務官に電報して曰白山丸の病況実に惨状を極む、其一行虎列刺恐怖症に罹り患者続発を見ることなきに非ず賀古事務官親しく停留舎に就て予防法説示し、安心自衛を奨励せんことを希望すと

大本営石黒野戦衛生長官より事務官長に近日帰航船頗る増加を見るべし用意せよとの注意あり

7月8日: 彦島検疫所事務官弘田少尉虎列刺病に罹り死亡す

7月22日: 伝染病研究所長北里柴三郎より事務官長に内務大臣より大日本私立衛生会へ来24日助手高木友枝心得築山俊次を似島検疫所に派遣し伝染病研究所費を以て研究に従事せしむる旨申来る

7月24日: 午後暴風各検疫所避病院損害多し然れども各所ともに幸に蒸汽消毒罐に損害を蒙らざりしを以て検疫を中止するに至らざりし

8月2日: 検疫所開設以来業務の実況を叡聞に達せしに優渥なる思召しを以て職員以下に酒肴寮下賜せらるる旨宮内大臣より陸軍大臣に通牒ありしを以て部長は直に之を事務官長に達し不取敢其旨各検疫所に通達せしむ

9月4日: 送還人員荷物とも大に減少し最早三か所の検疫所を存置するの必要なきを認め部長は来15日限り櫻島検疫所を閉鎖

9月7日: 事務官長後藤事務官内務省衛生局長に転任す

9月10日: 内務省衛生局長後藤新平事務官に兼任せらる即日事務官長を命す

10月21日: 事務官長大本営会議に於て臨時陸軍検疫部の功程を上奏す 臨時陸軍検疫部の官制廃止の件を發布せらる 本部を麴町永田町に一丁目十三番地に移す

10月31日: 臨時陸軍検疫部廃止